

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



国立公文書館見学と情報公開

国立公文書館を訪ね、沖縄復帰 50 周年記念特別展である、「公文書でたどる沖縄の日本復帰」を見学しました。

さて、国の公文書等を歴史の証拠あるいは参考資料として保存することは多数の国で実施されていますが、日本では各省庁で保管されてきました。その結果、文書の収集・保管が不十分となり、それらの資料が散逸したり、不用意に廃棄されてきました。それを改善するため、「学術会議」が国立公文書館を作り、公文書の散逸防止とその一般利用の利便性を求める勧告を行い、昭和 46 年(1971)に設置されたものです。

他方で、そこで保管した公文書や、行政機関が持つ公文書を国民に広く公開することを定めた「行政機関情報公開法」が(平成 11 年成立、平成 13 年 4 月 1 日)施行されました。これによって、誰でも様々の公文書を閲覧する権利が生まれました。私はそれ以前、「情報公開法を求める市民運動」と言う団体にいち早く参加し、その法律の早期制定を求める意見書案を提起し、町田市議会で決議するに至った経緯があります。この法律に基づいて、国が持つ様々の文書の公開が義務化され、私もその請求を時折行っています。



企業主導型保育園内覧会の見学

「おやまがおか 種まく人保育園」の開設内覧会の案内をいただき、現地見学してまいりました。この保育園は、「町田市許可 家庭的保育室種まく人」(収容人数 5 人)が、その隣接地に、この 4 月より開設したものです。

種まく人保育園の特徴は、ゼロ歳児、1 歳児、2 歳児を受け入れるもので、施設の設定や運営のための助成は社会保険制度の企業負担金「子ども子育て資金」が充当される仕組みになっています。なお、この保育園は児童福祉法上「認可外保育施設」として扱いますが、東京都の指導・監査を受けることで、行政の支援が可能になっているものです。



また、日本全体では、すでに保育園の過剰時代が始まっていますが、首都圏ではまだその動きが全体的ではないこと、あるいはこの保育園が若年児の入園に限った施設であることで、地域に似合った環境を整備されています。すなわち、隣接する八王子市、相模原市の幼児も利用可能になっているのが特徴でした。

園児がいない日に内覧会が開催されました

◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、間もなく第50期生がスタート

インターン体験記⑨柳原桃花

今回は青年館とは何か、またそこで活動している青年団とは何なのか、お話を伺うために日本青年館に向かいました。場所は、外苑前駅近くの明治神宮野球場の隣にあります。日本青年館に行くと事業課長の田中さんが優しく迎えてくれました。まず、日本青年館とは、1920年に皇太子殿下から明治神宮ご造営に奉仕した青年団に対して令旨を賜ったことを記念するために建設したものだそうです。青年団をはじめとする青少年の活動を育成し、支援すること、スポーツの振興を図ることが目的でできた法人だということが、日本青年館の定款に書かれていました。



青年団とは仕事をしながら地域活動をしている青年たちの集まりであり、全国になんと、200以上もあるのだとか。沖縄の青年団は特に活動的で、エイサーなどのお祭りを主催し地域を盛り上げているそうです。他にも大阪のだんじりなどのお祭りを主催していることでも有名です。日本青年館と言えば、大きなホールが有名ですね。ホールでは、高校オーケストラの活動支援や、全国民俗芸能大会など様々なイベントを開催するようです。戦前や戦後期に活動していた地域青年団が書き記した資料を、これからネットなどで公開していくそうです。私たちは実際に現物を見させていただきました。戦前にも書き写されたものを令和に生きている私たちが、実際に拝見することができてとても感慨深かったです。貴重な体験をさせていただきました。

専修大学新3年生 柳原 桃花(第49期生)

インターン体験記⑨上野竜空

今回は、町田市野津田町にある「町田市立自由民権資料館」に伺い、自由民権運動についての歴史を学びました。文明開化の流れにより、地域主体のリーダーが地域課題を超え国家レベルの問題に注視する風潮になり、自由民権運動へと発展していったなどの経緯を、展示品などを通して勉強することができました。異国の地の文化が介入してきたことを起因とする、地域主体で物事を捉えていた地域住民にとっての「焦り」、を一部感じ取ることができました。

展示資料閲覧後は吉田議員からの「政治と選挙について」のレクチャーがありました。なかでも明治期以降戦前までの政治家と現代の政治家との対比、そして現代の政治家にとって必要な要素についてのご説明は特に印象的でした。要素の一つとしては、「政治家の話が見たい・聞きたいと思わせる話術」について言及されていました。例えば、現代の政治家にとって、公衆の場での演説だけでなく、YouTube等のSNSを用いた発信も合わせる事が欠かせない時代になっているという体験的な説明でした。



中央大学4年生 上野竜空(第50期生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年4月末より50期生が研修を開始しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの第50期生となりますが、現在、1名受付済み、他にも受付中です。